



## 「父の原爆回想記 3」

輪番 楠 活也



1945年8月6日ヒロシマ、8月9日ナガサキに原子爆弾が投下されました。広島では約14万人、長崎では約7万人の方々の命が一瞬にして奪われました。私の父、達也は、6歳の時に長崎で被爆しました。今回は、今から5年ほど前に父へのインタビューをもとに書かれた新聞記事を紹介し、皆さんと共に、戦争と平和について考えたいと思います。

＜「バカタレ！」救いの声＞

父聞信さんが亡くなり、楠達也さんは20歳で光源寺の住職を継いで、姓を「越中」から母方の「楠」に変えた。当時は意味も深く考えずに力いっぱいお経を読んだ。反戦、反核にも関心は薄かった。転機は40歳を過ぎた頃、檀家のおばあさんとの出会いだった。

おばあさんはいつもお仏壇におにぎりをお供えしていた。「作法を知らないのか」。そう思って理由を尋ねると、泣き出した。おばあさんは原爆で10歳に満たない4人の子を失ったという。「とっておきのご飯を炊いて、おにぎりをこさえたから、お昼になったら食べなさい。」あの日、子どもたちに素晴らしい聞かせ、食料の買い出しに諫早へ向かった。原爆投下後、潰れた家に戻ると、おにぎりを置いたお膳を囲むように4人の遺体が見つかった。「あの子どもたちにおにぎりを作ってあげられるのは、世界中で私だけですから。」

楠さんは自分の思い上がりを恥じた。戦争や原爆に家族を奪われた痛みが、初めて現実のものとして感じられた。

＜吉田勝二さんの思い出＞

「主義主張は関係ない。」人間として、せずにはおられないからするのが平和活動だ」

### 9月の予定

- 2日 10時 家族法要  
10時45分 日本語法要 楠輪番
- 3日 レーバーデー 事務所休み
- 9日 10時 家族法要・ダーマ・スクール初日  
10時45分 日本語ビデオ
- 13日 10時 日本語法要  
白河仏教会にて ご法話 楠輪番
- 14日 6時—8時半 雅楽練習
- 16日 10時 家族法要・ともしえ  
11時50分 日本語法要(ゲスト)  
12時 ともしえ 日本語
- 22日 9時半 仏教婦人セミナー
- 23日 10時 お彼岸・恵信尼様・  
覚信尼様顕彰法要  
ご法話 カメラ・ジャバヤナ・ヒラノ師  
アシスタント・ミニスター、  
ソルトレーク仏教会  
10時45分 日本語法要 楠輪番
- 30日 10時 家族法要  
10時45分 日本語ビデオ
- 6日・20日 1時半 日系マナー法要
- 25日 10時半 敬老ホーム法要
- 27日 11時 メリル・ガーデン法要

被爆語り部の故・吉田勝二さんがいつも語っていた言葉を、楠達也さんは今も忘れない。

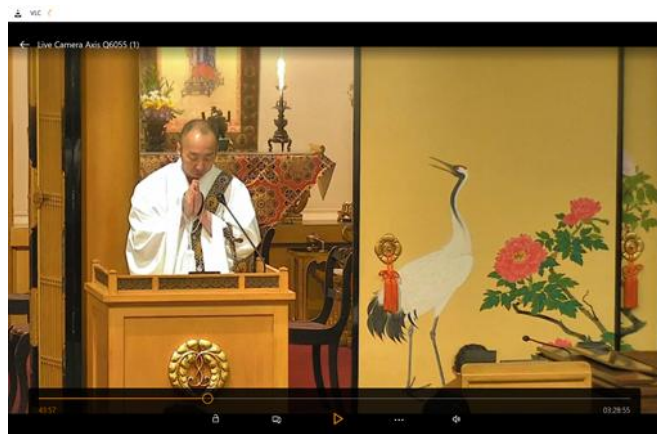
吉田勝次さんとの出会いは長崎東高校 1 年生の夏、お盆の檀家参りだった。仏壇の前に座り、振り返って吉田さんの顔を見た瞬間、目をそらした。原爆に焼かれた「お化け」のような顔が恐ろしくて、会うのを避けた。

30 年後、語り部を始めたばかりの吉田さんを檀家参りで訪ね、初めて話を聞いた。吉田さんの表面しか見ていなかったと悔やんだ。それから親しくなり、酒を酌み交わす仲に。2007 年には、吉田さんの被爆体験を描いた紙芝居が光源寺で披露された。吉田さんは、2010 年に死去。安穩院釈勝二の法名を付けた。

講演会では、吉田さんのことを語らずにはいられない。「勝二さんのあの言葉は仏教の經典に通じる。本物の平和活動をした、まさに菩薩のような人だった」（つづく） 合掌 楠 活也

### 別院でインターネットの同時放送がはじまりました。

シアトル別院では今月よりライブで日曜日の法要を放送しています。どなたでもインターネットを契約されていますとお説教が聞けます。ミニスター・アシスタントのマット・メイのおかげで実現しました。マットは昨年の春よりこの準備を進めていました。楠先生はお寺に来れる方はこの放送をみるよりぜひお寺まで参列していただきたいとのことです。100 人の方が見始めるともっと簡単な方法で見られるようになります。この地域以外にお住みの方か、お寺に来れない方にこのインフォをお知らせください。特に近くにお寺がないところにお住みの方、お寺に先生がおられない方など大変嬉しいサービスとなります。



楠先生をはじめとして m アシスタント・ミニスター、ミニスター・アシスタント、ユース・アシスタントなどの努力とタレントを得て別院は幸運です。これからはその素晴らしい先生がたの仏法をお寺の壁を超えたところでシェアできます。

このストリーミング、実況放送ですが自分が写るのではないかとご心配の方もおられると思います。カメラは本堂に向かって固定されています。メンバーの方々のお席はほとんど映らないようになっています。本堂の最後部の 1/3 は最も映らない席となります。

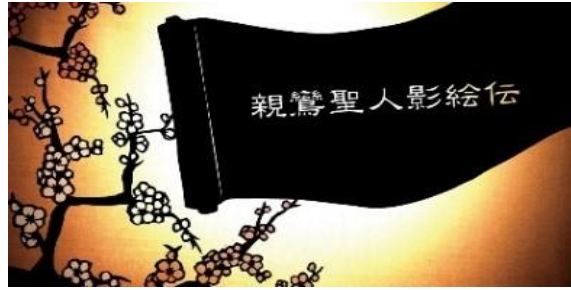
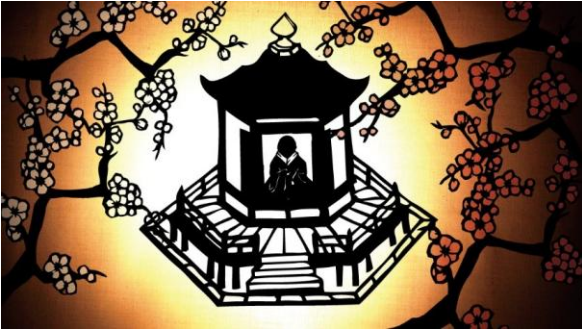
アナウンスメントの途中、ゲストの紹介の前に放送は終了します。本堂の入り口前には放送をしますというサインが出されます。仏様のお教えをお寺に来れない方も聞いていただけるといことと個人のプライバシーという問題と注意深く考えております。これは新しい試みですので改革をしていきます。ご意見などはマット・メイかアラン星野までおしらせください。

[https://www.youtube.com/channel/UChTn8Ub2VRiS4\\_-97xdCBxQ](https://www.youtube.com/channel/UChTn8Ub2VRiS4_-97xdCBxQ)



## 「ともしえ」 Live at the Seattle Betsuin on Sunday, September 16th

This dynamic group of young Jodo Shinshu Buddhist priests from Japan will perform shadowgraph storytelling followed by Dharma talks on the theme of the stories.



### 10 AM English Performance: "Bennen's Joy: A Story of Shinran"

Get to know the Japanese Buddhist priest Shinran through his dramatic encounter with the ferocious mountain ascetic Bennen.



### 12 時 日本語公演: 『四門出遊』

お釈迦様がまだ、シッダールタという名の子どもだったころに、お城の外に遊びに出られた時のお話です。このことが出家をし、お悟りを開かれるきっかけとなりました。

Japanese language performance: "The Journey Out of the Four Gates"

Discover the courage and vision of Siddhartha Gotama, the founder of Buddhism, as he left a life of wealth and privilege to seek the path to awakening.

All performances are free and open to the public. Please plan to attend!

### 浄土真宗×影絵=ともしえ

ともしえとは、影絵を用いて布教を行う団体です。阿弥陀如来の智慧と慈悲のはたらきは光に譬えられます。その光を影絵が灯す光になぞらえて名付けられました。(ウェブサイトより)

### 会員部より

別院メンバーシップ・コミティーは維持会会員の会員増加運動を計画しています。維持会メンバーは会費によりお寺の維持費、運営費のサポートをしています。ミニマムの会費の提案は300ドル、70歳以上は250ドルです。

### 初参りのご案内

初参りは赤ちゃんが初めてお寺に参って祝福をうけ、如来様と先祖にご報告するため、尊前で喜びの式をいたします。ことしの初参り式は10月14日10時より執り行われます。幼児に限らず何歳でも参加できます。申し込み用紙に記入の上10月10日までに別院事務所まで送られるかお持ち下さい。ダーマ・スクールから詳細を連絡します。ご質問は別院事務所 206-329-0800 まで。申し込み用紙は英語面をご覧ください。

### メディケアの申し込み説明会

メディケアについて詳しい説明をジェリー・藤田、カラ前田よりうけられます。9月30日12時半-2時半。ダイニング・ルームにて。無料です。



「広島 to hope」のイベントは多くの別院婦人会のメンバーボランティアに参加されました。一般の参加者も大勢来られみんなで平和を願いました。

「ウーマン・イン・ブディズム」のセミナーが22日に行われます。クッキーなどのスナックのご寄付をお願いしています。サイン・アップが婦人会のボードにありますのでよろしくお願いします。

オリオン・センターの夕食作りのボランティアをお願いしています。ナイナまでお知らせください。婦人会会費を未納の方がおられます。忘れやすいことですのでチェックしていただいております。

別院の外での法要が毎月、敬老ホーム、日系マナー、メリル・ガーデンであります。日時はニュースレターのカレンダーにありますのでぜひご参加ください。レジデンスの方々は皆さんに会えるのを楽しめます。

婦人会の歴史を作ってこられた先代のご婦人会会員にたいする「ありがとうおばあちゃん」という名で来年のサン・フランシスコで開催の婦人会世界大会をサポートする募金集めが始まりました。最近のホテルなどの経費が高くなり運営費が緊迫しています。用紙は婦人会ボードにあります。皆様のご支援に感謝いたします。

9月23日 時恵信尼様/覚信尼様顕彰法要

世界大会の参加費をサポートするファンドレイズのクラフト・プロジェクトのスケジュールが英語面にあります。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## 第6回 ウィーメンズ・セミナー

恒例の婦人セミナーが今年も開かれます。

テーマ : Tools for Spiritual Wellness  
9月22日 9時半 - 3時半

Carmela Javellana - Hirano M.D. アシスタント・ミニスター、ソルトレーク仏教会  
講演のテーマ “The Wounded Heart”

Elizabeth Myoen Sikes Ph.D. 博士、シアトル大学エコーサンガ共同所長、曹洞宗信者  
講演のテーマ “Tara’s Response: Deep Listening and Right Speech in our Relationships.”

今年は残念ですが、日本語のセッションはありません。  
ご講師の先生方ともに精神面と癒し、カウンセリングなどの専門です。学ぶことの多い一日となるでしょう。

そのほかに、インドの仏教徒に始まるタラ・ダンスのレッスン、内観療法、太鼓などを準備

